

## 海外安全対策情報（2014年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

当地では、カタルーニャ州の独立を巡る動き、景気低迷による雇用や生活に対する不安等もあり小中規模の抗議活動が各地で行われていることから、デモや集会には引き続き注意を要する。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 犯罪発生状況（内務省統計2014年1月～6月）

##### ア 国内

犯罪発生件数は1,038,487件と前年同期と比較して4.4%減である。罪種別では、殺人1.7%減、強盗・脅迫等の暴行を伴う窃盗18%減、傷害4.3%減、窃盗（暴力を伴わないもの）6.2%減、自動車盗（含自動二輪）11.1%減、侵入窃盗4.9%減で全体的に減少傾向にある。

##### イ 管内（カタルーニャ州、バレンシア州、バレアレス州）

犯罪発生件数は、前年同期と比較して4.1%減である。罪種別では、強盗・脅迫等の暴行を伴う窃盗17.2%減、傷害4.4%減、侵入窃盗5.4%減、窃盗（暴力を伴わないもの）5.1%減、自動車盗（含自動二輪）10.1%減であるが、殺人は増加した（20.4%増）。

##### ウ カタルーニャ州

犯罪発生状況は、前年同期と比較して2.8%減である。罪種別では、強盗・脅迫等の暴行を伴う窃盗15%減、傷害2.9%減、窃盗（暴力を伴わないもの）3.1%減、自動車盗（含自動二輪）10.7%減、侵入窃盗は3.3%減で、殺人事件は増加し、前年同期21件であったのに対して今期は35件発生があった

スリ・置き引き等の暴力を伴わない窃盗については、認知件数77,512件中8割以上がバルセロナ県に集中（64,138件）している。

#### (2) 邦人犯罪被害者数（当館認知ベース、2014年1月～6月）

当館で認知した今期の邦人に係る犯罪被害者数は159人（前年の152人から4.6%増）となっている。犯罪形態ではスリと置き引きで全体の67.3%を占め、ケチャップスリ16.4%、パンク盗5%、車上狙い3.8%、侵入窃盗1.9%、ひったくり0.6%となっている。

被害の特徴としては、ケッチャップスリ（服に汚れがついていると言いつき寄り盗む）の被害が26人で、親切を装い観光客を狙う泥棒による被害が増

加傾向にある。また、パンク盗の被害8人の内5月～6月の2ヶ月間で7人の発生があったことから、運転の際は注意を要する。今期、偽警察官によるすりや置き引きの被害の発生は認知していない。

- 3 テロ・爆弾事件発生状況  
管内における該当事件の発生は認知していない。
- 4 誘拐・脅迫事件発生状況  
邦人被害の事件は認知していない。
- 5 日本企業の安全に関する諸問題  
特段確認されていない。